

韓国環境部プレスリリース 2020 年 2 月 28 日付

京畿道と江原道の野生いのししから ASF ウイルス検出（野生いのしし 273-281 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1338295&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は 2 月 27 日江原道（カンウォンド）華川郡（ファチョンゲン）上西面（サンソミョン）および華川邑（ファチョンウプ）、京畿道（キョンギド）漣川郡（ヨンチョンゲン）百鶴面（ペッカソミョン）および坡州市（パジュシ）津東面（チンドンミョン）で発見された野生いのしし死体 9 個体で ASF ウイルスが検出されたと 2 月 28 日明らかにした。

□国立環境科学院は 2 月 28 日、死体 9 個体から ASF ウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで華川郡（ファチョンゲン）107 件、漣川郡（ヨンチョンゲン）84 件、坡州市（パジュシ）68 件、鉄原郡（チョルウォンゲン）22 件、合計 281 件の野生いのしし ASF 陽性事例となった。

○野生いのしし ASF 標準の行動指針により試料採取後現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は「今回陽性になった死体は全て広域フェンスの中で発見され、この地域では感染した死体がさらに出てくる可能性が高く、徹底した捜索を通じ感染死体を速かに除去する」と明らかにした。

以上